運営会議たより

３月/2024 年/NO.57

■発行:特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）[鎌倉市市民活動センター指定管理者]
■TEL/FAX:0467-60-4555　■E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp　■http:// npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

特集１ ： 3年連続で 35 万円のご寄付
２ ： イベント開催実施報告

市民活動の原点に還る

「鎌倉市市民活動センター運営会議」が設立され、「NPO センター鎌倉・大船」を開設してから 25 年半が経ちました。現在、「NPO センター」の登録団体数は 300 団体を越え、新たに登録を希望する団体もあり、その数は着実に増えています。

一方で、センター運営主体である「運営会議」の正会員、賛助会員数はここ数年伸び悩んでいます。また、当初の「鎌倉の市民活動に対する熱い想い」も薄れつつあるのではないかと危惧される面もないわけではありません。

登録団体活動者層を主たる対象として「運営会議」への新規入会を訴えていますが、非会員の方々から見ると「運営会議」と「センター」との違いが判然とせず、「運営会議」に対する理解と関心は必ずしも十分ではないのが現状です。運営会議は市民活動支援を使命としていることを定款でも力強く宣言していること、「センター」を運営しているのは「運営会議」であること等の「運営会議の存在感」を強く示す必要があります。もちろん非会員の方々に対して、「会員」となることのメリットを提示する必要もあります。具体的には会員は対等の立場であること、民主的な組織運営がされていること、活動に生きがいをもてること等々です。

運営会議会員が一体となって、今まで以上に市民活動支援の精神に立脚して、登録団体との「顔の見える関係」を築き、団体のニーズの把握、団体同士の協働の促進、「市民活動のコーディネーター」としての役割を鮮明にしていくことが求められています。

時代が変わり、人々の意識も変わっていくなか、「運営会議」として「センター」を適切に運営しつつ市民活動支援を継続的かつ強力に推進していくための「新たな一歩」を踏み出す時が来たようです。

（副理事長　志倉　知也）

■*鎌倉市市民活動センター運営会議（以下、運営会議）は、*
市民活動団体支援を目的とする中間支援組織です
■*運営会議は、NPO センター鎌倉・大船2館の指定管理者です*
■*鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします*

３年連続で 35 万円のご寄付！

「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」様ならびに「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社神奈川支店」様から 35 万のご寄付をいただきました。これで３年連続してご寄付をいただいたことになります。贈呈式は去る２月 26 日に前記神奈川支店様で行われました。

これを機会に、同社の市民活動に対する思い、私たちに対する期待等について神奈川支店の飯田様にご寄稿をお願いしました。同社の温かい激励を真摯に受け止め、私たちの今後の飛躍の決意を新たにしたいと思います。

「鎌倉市の市民活動と運営会議に期待する」

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社　神奈川支店　地域推進役　飯田 謙一

最初に能登半島地震で被災された方々へ心よりお見舞い申し上げますと共に復旧・復興にご尽力いただいている関係者の皆さまに感謝と敬意を表したいと存じます。

■公助・共助・自助の三位一体の地域社会

2023 年度は「関東大震災」から 100 年の節目にあたり、また弊社は日本損害保険協会長会社に任じられ防災・減災を始めＳＤＧｓを道標に地域課題の解決に向けた啓発活動をすすめて参りました。首都直下型地震や南海トラフを要因とする巨大地震への備え・対策も官民連携の中ですすめておりますが自治体と関連する企業だけで解決することは不可能です。「公助」には限界があります。また「自助」だけで長く続けられないのも事実です。「公助」を基盤に「自助」（個のチカラ）を強めていく継続的活動、そして市民活動に横ぐしを通し連携・連動した「共助」による三位一体型地域社会の確立が鎌倉の街をより良くしていく原動力であると考えております。

■市民活動と運営会議に期待します

僭越ですが、ここ数年に亘り鎌倉市市民活動センター運営会議さま（以下、貴センター）へ「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」を通じ寄付寄贈をさせていただいております。「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」は、弊社および関連子会社の役職員の気持ちを一つに集め、地域・社会へ貢献していくことを目的とした募金制度です。

弊社はレジリエントでサステナブルな社会の実現に向け「健やかな地球環境を未来へつなぐ」、「レジリエントな社会の実現に貢献する」、「すべての人の幸福と自分らしい生き方を支える」を重点項目としています。「わたしたちのまち鎌倉をもっと良くしたい」と願う市民の皆さまの熱意をベースとした自発的な市民活動と「人と地域をつなぎ総合力を高めていく」貴センターの役割・取組みは、多様化・複雑化している地域課題の解決に向けた重要なカギであり、あるべき「共助」のカタチを創り出す原動力であると考えます。弊社もその理念・活動に共感・賛同し、毎年些少ではございますが「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」を通じレジリアントな鎌倉市の実現に少しでも貢献できればと考えております。

■保険で社会課題解決に貢献したい

最後に「公助」強化の必要性について少し記述させていただきます。

保険会社は「保険というカタチのない商品」で、万一の災害・事故時、ケースによっては無限に近い補償を行う会社ですが､弊社は従来からの保険機能だけでなく“新たな価値”を創造していく会社を標ぼうしており、多くの業種・業態の企業さまと連携して地域課題の解決に取り組んでおります。

代表的な例としてはテレマティクス自動車保険があります。本保険が解決する社会課題は事故の削減に留まらず、安全運転の促進等を加速させることで事故低減に伴う産業廃棄物削減やエコドライブ推進等によるＣO2 排出量削減につなげ、カーボンニュートラルの実現にも貢献していきます。

また、データを活用した自治体共同での交通安全マップ作成や、脳体操アプリ活用での高齢者の運転寿命延伸による地域活性化など、新たな価値創造を連鎖させ様々な社会・地域課題の解決を進めています。

■行政や企業とも連携したい

弊社としましては、鎌倉市さま（自治体）との連携や地域課題の解決に向け取り組んでいる企業さまと連携することが「公助」基盤をより強固にしていくことに繋がる要素のひとつと考えておりますし､「共助」･「自助」との相乗効果も高まるものと考えております。

ぜひ貴センター並びに市民活動団体さまの後押しなどもいただければ大変ありがたく存じます。

末筆となりましたが、皆さまの益々のご隆盛をご祈念申し上げますと共に、今回寄稿の機会を賜り厚く御礼申し上げます。

拙筆の段お許しいただきますようお願い申し上げます。



贈呈式にて　左：平瀬支店長　右：小島理事長

全員会議のお知らせ（令和5年度下期の全員会議）

日 時 ： 2024 年 3 月 24 日(日) 15:00~17:00

場 所 ： NPOセンター大船

議 題 ： 令和5年度の運営会議活動報告と決算見込み

令和6年度の運営会議活動計画　他



すべては「人とのつながり」から ・・・ 感謝感謝！



去年 2023 年 6 月 10 日（土）　於：鎌倉きららホール
【聞いて愉しい、見て楽しい、アンデスに行きたくなっちゃう！「**南米フォルクローレコンサート in 鎌倉**」】を開催。その報告をさせていただきます。

知り合いのお誕生日会で南米アンデス地方周辺の民族音楽・フォルクローレで使われいる楽器の**チャランゴ**奏者と初めて共演させて頂く機会があり、フォルクローレというジャンルの音楽を鎌倉きららホールでたくさんの方に聞いて頂きたく・・・チラシ作りから企画、当日プログラム、演奏までさせて頂きました。

無料のライブやコンサートの企画は気が楽ですが、プロの演奏者による有料のコンサートになるとまず集客が大変！チケット料金は 2,000 円。企画はしたものの、ホール使用料＆演奏者の活動費をなんとかしなくてはならないというプレッシャーが！

会う人会う人に「チャランゴ・ケーナ・ベネズエラマラカス・・等、鎌倉ではなかなか聞けない新しいサウンドのコンサートがありますよ！」とあちこちで PR し、チラシを配りまくりました。



その情報をどこかでキャッチして下さった方がいました。鎌倉で、フォルクローレを練習している或る団体の代表者の方から連絡が入り、お目にかかって見ると「集客に協力させてもらうよ」と嬉しいお言葉・・・

共演者も一人一人、かなり集客に力を入れました。その結果、当日は定員の 280 人満席に近いお客様だったと思います。わーいわーい！　大成功！　大入り！

逗子や横浜栄区、鎌倉以外の施設にもチラシを運んで下さったお友達や、音楽仲間、指導しているパソコン教室の生徒さん、スポーツ仲間（笑）等、つながっている沢山の方にチケット購入にご協力して頂きました。当日、来て下さった方からは、「すごい良かった」「すごい愉しかった」「アンデス５人、またやってね」・・と嬉しい感想をたくさん頂き、人とのつながりを実感したコンサート企画でした。

第２弾　決まりました！　お待ちしております。

～　2024 年　8月4日（日）　In 鎌倉きららホール　～

すべては「人とのつながり」だと・・・

藤原久江（運営会議　正会員）

会　員　募　集

運営会議は会員によって支えられています
入会随時です。

〈会費〉
正 会 員　　個人正会員　2,000 円
賛助会員
　個人 1,000 円、２口以上
　団体 1,000 円、３口以上
正会員数　　88 名
賛助会員数　　１５名
賛助団体数　１６８団体　（３月現在）

鎌倉市市民活動センター運営会議は
「認定 NPO 法人」格を取得しています

寄付金控除の詳細は
こちらから

**“あなたのご寄附が、
鎌倉の街を元気にします”**

ご寄附いただいた場合、「寄附金控除」制度が適用され、確定申告で税金の還付が受けられます
お問い合わせはＮＰＯセンターまで！！